

平成29年度 事業計画

会長所信

平成29年度 会長 前田和幸

スローガン 「共に前へ」

長引く景気の低迷、さらには日本全体が超高齢化・人口減少が加速度的に進み、国内市場の縮小が懸念される中、わが町においても例外では無く消費の低迷や後継者不足により四万十市の産業は厳しい状況下に立たされています。

このような中で、我々中村YEGは地域にどれだけの貢献ができるのでしょうか？この課題に対し、私たちは正面から向き合わねばなりません。

私たちYEGは、自社の発展を目指すとともに、地域社会への貢献という社会的責任も担っています。YEG綱領で宣言するまでもなく情熱と行動力をもって、地域社会をけん引して行くべきで有ると考えます。

その為に、行政・民間・その他関係団体との情報・意見交換の機会を持ち、地域のイベントやYEG事業を通じて交流を図りながら、地域の発展に貢献していきます。

また、土佐の小京都中村の礎を築いた土佐一条氏をしのぶため建立された一條神社の秋の大祭「一條大祭」や、全国的にも珍しい神様の結婚式でも知られる「不破八幡宮大祭」と言った高知県を代表する文化的・歴史的な地域のお祭りに積極的に参加し、盛り上げて行くことで地域の歴史を再認識して頂き、我々の「ふるさと」に関心や愛着、誇りを持って頂きたいと願います。

我々中村YEGは、会員数約40名ほどの小さな団体ですが、だからこそメンバー相互の連携が最も重要だと考えます。

各事業を通じて目標や悩みを共有することにより、心から信頼できるパートナーとなるよう連帯感と相互理解を深めていき、一枚岩となって全力で突き進んでいきます。そのためにはメンバー個々の自己研鑽が必要不可欠であり、様々な研修会や交流を重ね、「自己の教養・資質」を高め、今後の人生にも活かして頂きたいと思います。

我がふるさと四万十の繁栄と発展を願い、地域と共に、また同じ「志」を持つ仲間との繋がりを大切に、幸せな未来に向かって「共に前へ」前進して行くことを29年度のスローガンとし、ここに掲げます。

最後になりますが、私自身経験も知識も不足しており、至らない点、ご迷惑をお掛けする事が数多くあるかもしれませんが、17代に渡る諸先輩方の築き上げたこの中村YEGの歴史と伝統を引き継ぎメンバーが一体となって、より進化した中村YEGへと成長して行きたいと思います。